

赤祖父俊一著「正しく知る地球温暖化」(2010.10) より

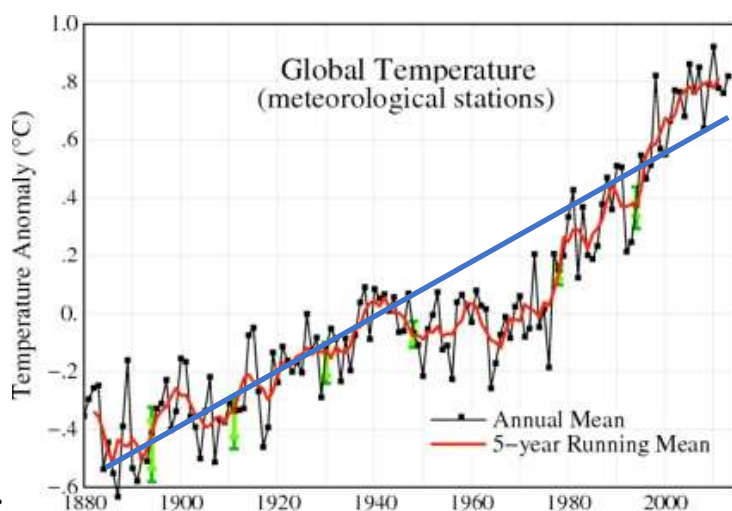
2019.7.28 プラ技 川井

要旨

温暖化は進行している。しかし、現在進行中の温暖化の約 5/6 は自然変動（小氷河期（1400 - 1800）からの回復期）によるものであり、GHG 効果は約 1/6

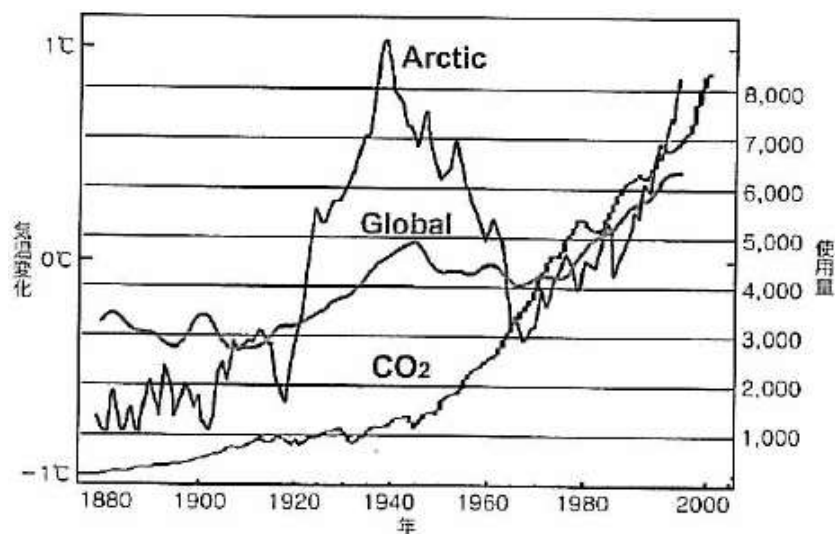
➤ 1880 年以降の温暖化推移（世界の寒暖計平均）

- ・ この勾配は 1800 年頃に始まっている（北極圏の氷河解析より）



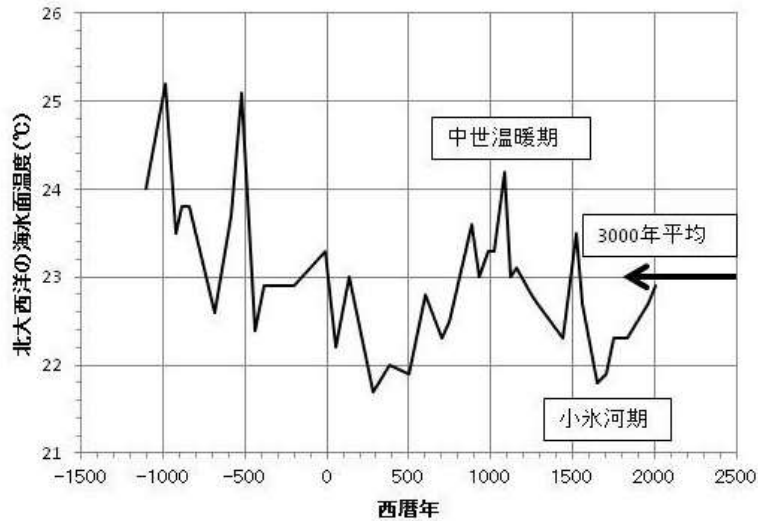
➤ 1880-2000 年の地球平均気温（Global）と化石燃料使用量

- ・ CO₂ の急激な増加は 1946 年以降
- ・ CO₂ 量と気温変動に相関関係は見られない。



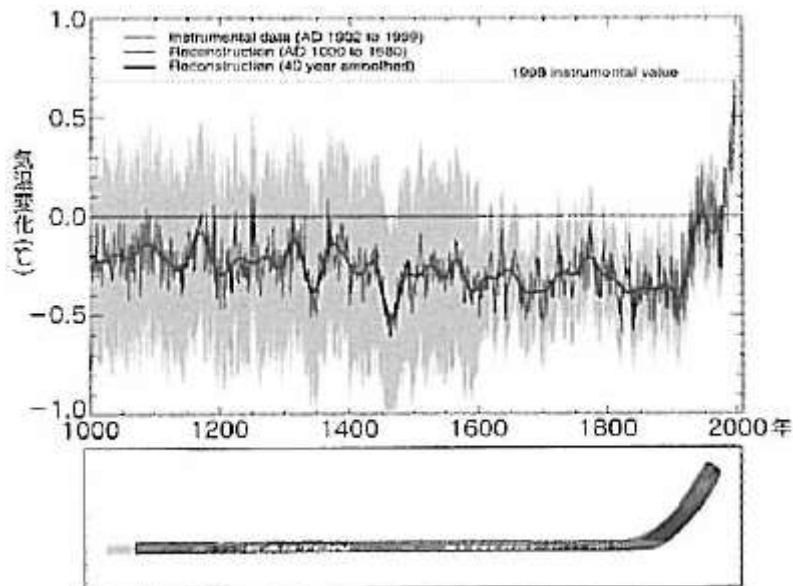
➤ 3500年間の推定気温推移（北大西洋の改定堆積物の酸素同位体分析）

- ・ 1200-1800年 ⇒ 小氷河期
- ・ 回復時の勾配 = $0.5^{\circ}\text{C}/100\text{年}$ （IPCC: CO_2 温暖化 = $0.6^{\circ}\text{C}/100\text{年}$ ）

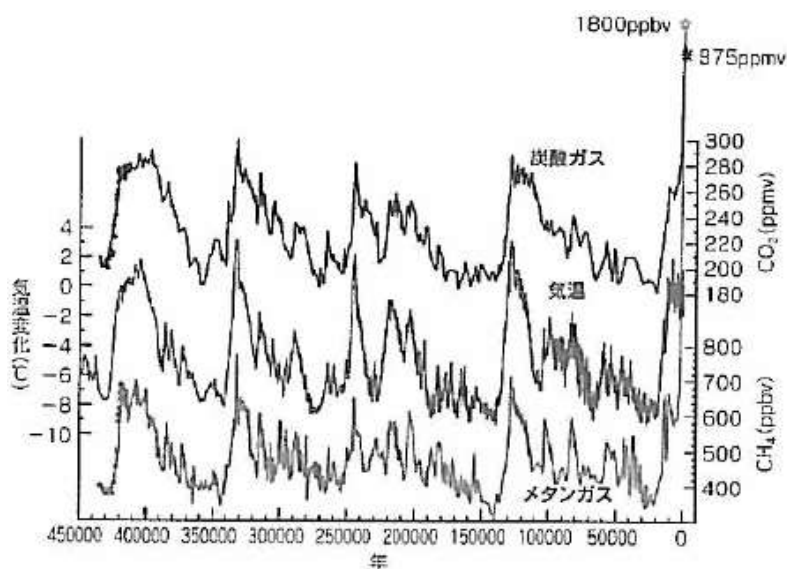


➤ 一方、IPCCによる「ホッケー・スティック」図（木の年輪をもとにした気温変化）

- ・ 小氷河期も「中世温暖化」も現れない
- 温暖化は1900年頃から。主要因は CO_2 と
- ・ 2001年に発表、しかし、2007年に取り下げ



- 長期の評価 ～過去 45 万年間における CO₂、気温推移（南極氷の解析による）
 - ・ 気温上昇が先か？ CO₂ 増加が先か？ ⇒現在の研究では気温が 800 - 1300 年ほど先行？ 現在進行中の温暖化については慎重な評価が必要。
 - ・ 現在、間氷河期（気温は 10000 年前がピーク）のため文明が栄えている



- 様々の CO₂ 要因とされている誤情報
 - ・ 氷河 ～後退は 1800 年頃から始まっている
 - ・ 北極海の海氷 ～暖流による？ センセーショナルなシロクマ報道
 - ・ 海面上昇 ～1850 年頃より開始。過去 30 年の上昇率は低下
 - ・ その他 ～永久凍土、熱帯病の北進、自然災害増加、異常気象との関連・・・

過去 100 年間の地球の平均気温は 0.6°C 上昇 ⇒人間には実感は出来ない
- どうあるべきか？
 - ・ 温暖化の主原因が自然変動であればそれに順応、対策、適応を・
 - ・ 資金は、効果の少ない CO₂ 放出抑制よりも新エネ開発、エネ効率向上、環境破壊防止（汚染、過剰収穫、過剰伐採、無責任開発・・・）、貧富の解消に
 - ・ 次世代のために化石燃料の使用抑制
⇒このために筆者は原発、核融合開発容認の立場

<以上>